

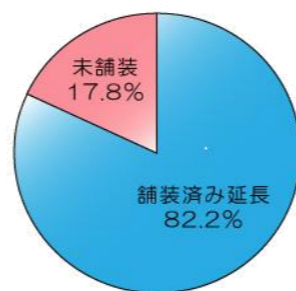
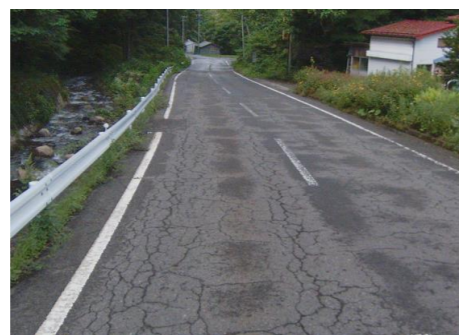
計画の目的

道路は、暮らしを守る重要なインフラであり、適切な状態に保持するため、定期的に点検し補修などの必要な対策を講じる必要があります。そこで、舗装の修繕等を効果的効率的に実施するため、舗装修繕計画を策定することとしました。

木祖村では、115km以上の道路を管理しており、その8割以上が舗装されています。舗装は建設後10年を過ぎるとひび割れが多く発生し、補修を進める必要があります。

しかし、財政上の制約からすぐには補修が実施できない状況が続いており、その結果、舗装の破損が目立つ傾向になっています。

舗装の破損は、車両走行の快適性を損なうだけでなく、穴ぼこの発生により、飛び石や水はねなどにより歩行者などへも被害が及び可能性があります。



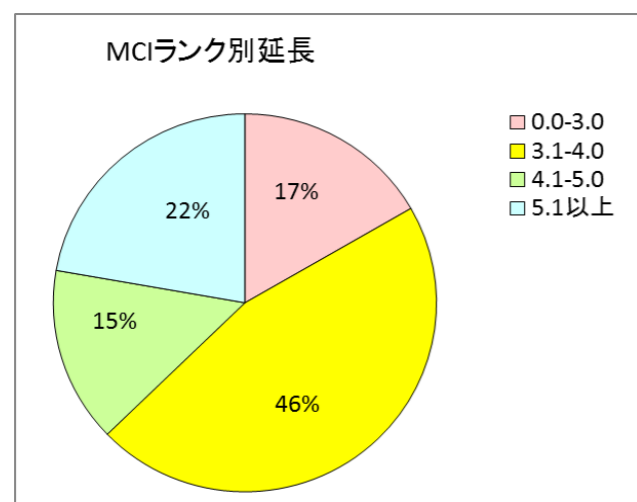
＜破損が目立つ道路舗装＞

舗装の現状把握

客観的な指標による現状把握として、主要路線の約22km（9路線）において、舗装路面の点検を行いました。この結果から、全体の平均MCI（維持管理指数）は4.3となり、「補修が必要」と判断されました。

このうちの17%の約4kmでは、特に状態が悪い「早急に補修が必要」と評価され、計画的に修繕を実施していく必要があります。

＜舗装点検結果＞



**MCI**は舗装の損傷状態（ひび割れ率、わだち掘れ量、平坦性）に応じて算出される指数です。

小さいほど損傷が進行している状態です。（10点満点）

MCIによる管理水準では、MCIが4を下回ると「補修が必要」、MCIが3以下では「早急に補修が必要」とされています。

路線のグループ分け

木祖村での道路の使われ方は、大きく分けて以下の3パターンに分けることができます。

- ・産業の柱である観光に必要となる路線
- ・日常生活に必要な路線
- ・水資源の管理に必要となるダムに向かう路線

今回の計画では、この3つのグループに分けて管理する方針としました。なお、このグループ分けは、今後の検証により再検討します。

＜路線のグループ分け＞

分類	路線状況	該当路線
観光道路	主に観光に使用される道路	菅線、奥峰寺平線
生活道路	主に日常生活に使用される道路	味噌川線、野中久保田線、丸の内線、町並丸ノ内線、藪原駅裏線
ダム道路	主にダムに向かう道路	奥木曾1号線、奥木曾2号線

管理基準の設定

予算を効率的に使用するためにはメリハリを付けた管理が必要となります。

各グループで管理水準を設定し、維持修繕の要否を判断することとしました。

バスなどの交通量が多い観光道路は、早めに構造強化をはかることとしています。

＜各グループの管理基準＞

診断区分	分類B	分類B			工法など	
		観光道路	生活道路	ダム道路		
I	健全	4.5以上			日常管理	
II	表層機能保持段階	4.1~4.5	4.1~4.5	4.1~4.5	シール材注入	
III	修繕段階	III-1	3.1~4.0	2.6~4.0	2.1~4.0	切削オーバーレイ
		III-2	3.0以下	2.5以下	2.0以下	路上路盤再生

工法は暫定であり、切削オーバーレイおよび路上路盤再生の判断は、FWD等による詳細調査で路盤の健全性を確認し、決定する。

今後の舗装管理

舗装補修を計画的に進めて行く際には、長寿命化を意識した方法で進めて行く予定です。

シミュレーション結果によると、長寿命化を意識した工法を使用した場合、従来工法と比較して50年間で約4億円のトータルコストを縮減できると試算されました。

今後は、このような試算結果を踏まえ、計画的に補修を実施していく方針です。

道路舗装の効率的な維持修繕を進めるためには、P（計画）D（工事）C（検証）A（検討）のサイクルを持続的に回していくことが重要です。

今後、定期的に検証を行い、今回策定した計画を再評価・検証し、見直しを行うことで、より良い道路環境とする取り組みを進めていきます。

＜シミュレーション結果＞

